



ながす議会だより



潮がい

長洲の水を

未来に残そう



令和5年第1回定例会

- | | | |
|--------|-------------|-----|
| 当初予算 | 新設中学校に大型予算 | ②～④ |
| 条例等 | 水道料金改定 | ⑤～⑦ |
| 一般質問 | 7人が登壇し町政を問う | ⑧～⑮ |
| 委員会活動 | どう活かすか？研修報告 | ⑯～⑰ |
| 町民のひろば | | ⑱ |



長洲町議会ホームページ
過去の議会だよりや会議録を
ご覧いただけます。

町長から令和5年度施政方針が示された。町長等から提案された議案は31件で、令和5年度各会計予算（6会計）ほか、条例の一部改正、補正予算、人事案件等を審議し、全て原案どおり可決した。

大型予算！



改修に向けて

総額 71億400万円

注目予算1

学校施設の大規模改修で快適予算

- **新規** 中学校統合通学路の安全対策
2億4248万円
- **新規** 六栄小学校東校舎の解体と
渡り廊下新設工事設計
303万円
- **新規** 長洲中学校跡地の利活用を検討
195万円



注目予算2

長洲での子育てをしっかりと応援予算

- 18歳までの医療費無償化
6700万円
子どもの医療費を全額補助し、疾病の早期発見と早期治療を促進
- 出産・子育て応援給付金
440万円
母子手帳を交付した後に5万円、出生届提出後の面談後に5万円を支給
- 男性の育児休業取得促進奨励金
150万円



新設中学校 スタートへ向け

課題の解決と通学路の 令和5年度一般会計

注目予算3

利便性の向上と交通安全対策のインフラ予算

町道

- 長洲・岱明線測量設計 1720万円
- 赤田・上沖洲線見直し設計 300万円
- 上沖洲・鷺巣線道路改良工事 1370万円
- 塩屋・赤崎線道路改良工事等 1561万円
- 赤田・上沖洲線道路付属物設置工事 500万円



注目予算4

長洲ならではの予算

- **新規** 带状疱疹ワクチン接種費用の助成 123万円
50歳以上を対象に費用負担を軽減
- 外国人へ医療・福祉等情報提供、相談支援 405万円
- 庁舎トイレ改修工事 1億234万円



主な質疑
(一般会計)



歳入

(竹本議員)

問 町民税は増加が見込まれるのか。

答 (税務課長)

個人町民税は500万円、法人町民税は1000万円の増加を見込んでいます。

問 (磯野議員)

金魚のカフェテリアの財産貸付収入とあるが、貸付ける予定はあるのか。

答 (まちづくり課長)

公募等で事業者を選定し、貸付ける予定で計画している。



広場に新たなにぎわいを

問 (荒木議員)

県プラスチックごみ分別収集支援補助金の内容は。

答 (住民環境課長)

市町村一部事務組合及び広域連合による事業で、プラスチックごみの分別収集の啓発、試行に伴う運搬や中間処理費用が対象である。

歳出

(田成議員)

問 マイナンバーカード事務補助の会計年度任用職員6人の予算は令和5年度も必要か。

答 (住民環境課)

申込期限は令和5年5月末だが、引き続き申込みの支援を行う。申請が難しい住民のため、出張申請も行う。

問 (濱崎議員)

区統廃合審議会の昨年度の実績は。また、今年度はどのように審議会を進めていくのか。

答 (総務課長)

昨年度は審議会を開催しておらず実績はない。各区の意向を踏まえて進めていく考えである。



パパの抱っこが一番

問 (前田議員)

男性の育児休業取得促進奨励金の上限額は10万円だが、一人当たり6万円で予算計上した根拠は。

答 (総務課)

現時点の申請者が取得した育児休業は平均12日間であり、この実績から、1日当たり5千円支給で平均6万円とした。

問 (浦邊議員)

外国人受入事業者等連絡協議会は、定期的な会合を予定しているのか。

答 (まちづくり課)

17人の委員のほか、関係者の管理組合が入る協議会を、年2回開催する予定である。

問 (林議員)

子ども医療費助成費6700万円のうち、今年4月より医療費無償化が18歳まで拡大された分の予算はどのくらいか。

答 (子育て支援課)

800万円を想定している。

問 (福田議員)

観光PRのための東京都、愛知県瀬戸市への旅費の内容は。

答 (まちづくり課)

東京都は金魚のPRと販路拡大等の情報交換、瀬戸市は「せともの祭」への出展で、それぞれ4名の旅費を見込んでいます。

問 (福本議員)

英検3級以上の受験料の全額を補助する予算を計上しているが、受験の状況は。

答 (学校教育課長)

1月現在で97人受験し、53人が補助金を申請した。



英検にチャレンジ!

反対

(林議員)

学校給食費の完全無償化を

コロナ禍や物価高で町民の暮らしの不安は増し、子育ての不安も大きい。交通手段のない高齢者はきんぎょタクシーの運行拡大を求めている。予算編成の苦労は理解するが、町民目線に立ち、誰もが安心して住み続けられるまちづくり予算になっていない。

討論

賛成

(浦邊議員)

交付金・補助金を

大いに活用

町税やふるさと納税の増加が期待され、歳入の確保ができています。限られた財源の中で、最小の経費で最大の効果を産む予算編成である。町の将来を見据え、事業を着実に推進してほしい。

令和4年度 一般会計補正予算 2億9883万円の追加

主な事業

都市計画道路赤田・上沖洲線（永塩地内）道路改良工事

1億4250万円

ふるさと納税促進事業

2924万円

障害者自立支援介護給付・訓練等給付事業

2361万円

子ども医療費助成事業

200万円

専決処分

出産・子育て応援給付金

母子手帳交付後に5万円、出生届提出後に5万円の給付金を、速やかに支払うための補正。

1084万円

人事案件

監査委員（再任）

高本茂実氏（腹赤新町区）
令和5年5月20日から4年間
令和元年5月から現職

Pick Up

条例等

長洲町におけるあらゆる差別をなくすことをめざす条例の一部改正

外国人も含める条例改正

対象者を具体的に明確にし、相談体制の充実等を図るもの。

問

(磯野議員)

外国人差別は、町独自で条例に入れているのか。

答

(生涯学習課長)

県内では、嘉島町と美里町でも条例に明記している。



長洲町子ども医療費助成に関する条例の一部改正

18歳までの医療費の無償化

15歳まで無償としていた医療費を、令和5年4月1日から18歳までに引き上げた。

長洲町議会個人情報保護条例

個人情報保護制度の見直しによる制定

個人情報保護に関する法律の改正により、地方議会は独自で整備する必要がある。

施行の状況は、毎年度公表する。

主な質疑



水道給水条例の一部改正

値上げ幅は十分か

問 (磯野議員)

健全な運営のために18%の値上げで足りるのか。今後の施設等の維持を十分に見込んでいるのか。

答 (水道課長)

経営が成り立つ範囲での、3年間の試算による料金改定である。

値上げ以外の手段はないか

問 (竹本議員)

町民は電気代や物価、ガソリン代も上がって苦しい時期だ。値上げのほかに経営を改善する方法はないのか。

答 (町長)

健全に運営する努力をしていますが、動力費がここまで上がることは想定できなかった。今回、やむなく水道料金改定の審議をお願いするものである。

反対

住民の生活は厳しい

(林議員)

水道施設の更新、耐震化は待った無しだが、住民の生活は大変厳しい。物価高騰、電気料金的大幅値上げに水道料金までとは理解を得られない。この時期の値上げは、到底受け入れることはできない。

討論

賛成

改定はやむを得ない

(松井議員)

老朽化した配水管の更新事業は、住民に安全で安心な水を安定的に供給するために継続していかねければならない。水道料金は15年間据え置かれ、九州内でも安い。今回の料金改定はやむを得ない。

短期間に周知徹底は可能か

問 (林議員)

短期間に値上げの広報を行ったとして、町民の理解は得られるのか。

答 (水道課長)

広報が、LINE、メール等で周知徹底を早急に図っていく。

工事請負契約

工事名	清里小学校屋内運動場長寿命化改良工事
工事場所	清里小学校 (長洲町大字高浜)
契約金額	2億4310万円
契約の相手方	興亜建設工業株式会社
工事名	中学校規模適正化 (統合) 改修工事
工事場所	腹栄中学校 (長洲町大字腹赤)
契約金額	4億40万円
契約の相手方	サンコー・興亜特定建設工事共同企業体

国民健康保険特別会計	20億8100万円	
介護保険特別会計	18億1100万円	
後期高齢者医療特別会計	2億6860万円	
水道事業会計	収益的支出	2億4947万円
	資本的支出	1億5710万円
下水道事業会計	収益的支出	8億2281万円
	資本的支出	11億3377万円

令和5年度特別会計

水道事業会計

(竹本議員)

問 水道料金を18%値上げするといふことだが、純利益の見込みは令和4年度と令和5年度を比較するとあまり差はない。何年くらい維持できるか。

答 (水道課)
令和5年度から令和7年度までの3年間にかかる費用算定期間として予算計上している。



経営健全化のために
(梅田浄水場)

問

(磯野議員)

財務三表でみると、内部改革や、本来の業務である水道水を売って利益を確保していかないと、経営が厳しくなっていく。何らかの改善策はあるのか。

(町長)

答 定住策による水道使用量を増やすことで、乗り切っていくかなくてはならない。

国民健康保険特別会計

(竹本議員)

問 令和元年度頃は国保の税収が3億5千万円程だったが、近年減少傾向である。要因は。

答 (福祉保健介護課)
昨年度から3億円を切っている。令和元年度と令和4年度の国保税率の見直しと、団塊の世代の被保険者が75歳を迎え、後期高齢者になったことが税収減の要因である。

後期高齢者医療特別会計

(林議員)

問 後期高齢者被保険者数は、どのくらい増えたのか。

答 (福祉保健介護課)
前年度は約200名の増加であったが、令和4年度中は約260人増える見込みである。

反対

(林議員)

後期高齢者医療保険料で生活が苦しい

異常な物価高騰で、保険料の支払いが重くのしかかっている。医療費の増加を懸念し、受診を控える高齢者が続出している。加入者の負担増の仕組みの弊害は重大だ。まずは老人保健制度に戻すべきだ。

討論

賛成

(福田議員)

制度定着で

医療提供している

制度発足後、被保険者の理解も深まり、医療制度として定着した。後期高齢者の窓口として必要な事務を執行し、県広域連合は円滑に運営し、被保険者に十分な医療の提供に貢献している。

審議結果 (全議案可決)

賛成...○ 反対...×
※議長は表決に加わりません。



全議案は議会HPからご確認いただけます。

議案番号	事件名	田成	前田	林	荒木	福田	竹本	福本	磯野	浦邊	徳永	濱村	松井	濱崎
議案第4号	長洲町水道給水条例の一部改正	○	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○
議案第18号	令和5年度長洲町一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和5年度長洲町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和5年度長洲町水道事業会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

この審議結果は賛否が分かれたもののみ掲載しています。

町政を問う 一般質問

一般質問では、議員が町に対して、町政全般にわたって施策を問います。
3月定例会では7人の議員が登壇し、一般質問を行った。
議会だよりでは、質問と答弁の要旨をまとめており、全文記録（会議録）は町ホームページに掲載している。

一般質問 目次

質問項目	質問者	ページ
駅南側一ノ割地区の道路整備を	竹本 信次	9
新年度施政方針にリーダーシップを！	福本みや子	10
町独自の子育て支援の取組が必要だ	磯野 博	11
施政方針を問う(多文化共生社会について)	浦邊 朝章	12
家庭用廃油回収に積極的な取組を	田成 護	13
フードドライブの再開は		
学校給食費の完全無償化を求める	林 敏哉	14
タブレット端末の活用状況は	荒木 睦子	15
さらなるごみ減量化対策は		



たけもと しんじ
竹本 信次
議員

駅南側一ノ割地区の道路整備を

答 狭あい道路拡幅整備事業で
対応する

問 南側の一ノ割地区の生活基盤が十分にできないまま虫食いの宅地化が進んでいることから、道路や上下水道等を計画的に整備し、エリア内の居住環境を向上させ、住宅地を増やすとされていたが、なぜ計画的に道路整備が進まないのか。

答 (町長) 住宅マスタープラン等の計画において、これまで一ノ割地区の道路整備を検討してきた。地権者等との話し合いの結果、幅員4mの道路を整備する「狭あい道路拡幅整備事業」で対応する。



遅々として進まない一ノ割地区道路整備

問 狭あい道路拡幅整備事業とは、4m未満の道路に接し、4mになるようにセットバックしなければならぬ土地を町に寄付し、道路拡幅整備を行う事業である。本年度、狭あい道路舗装工事の事業を推進し、一ノ割地区での狭あい道路整備がどれだけできているか。

答 (建設課長) 一ノ割地区での事業の実績は、令和4年度に測量を2件実施している。実施場所は、一ノ割地区の東側である。
問 地元区民からも道路改良の要望書が出ているではないか。

町の市街地の周辺部に位置する住宅地として、既存の道路を改めて整備し直す必要があるのではないかと。何が問題となっているのか。

答 (建設課長) 平成28年の一ノ割地区道路整備に関する地権者等との話し合い等を踏まえ、地権者の理解が得られていない状況であると認識している。町道としての道路整備ではなく、狭あい道路拡幅整備事業の対応を考えている。

問 一ノ割地区は、駅前付近に接し、将来においても宅地需要が大きいと考えられ、基盤の目的のように整然と道路が整備されるはずが、遅々として進まない。中・長期的視点に立ち、計画的、着実かつ迅速に道路整備を推進できる環境づくりに取り組むことはできないか。

答 (町長) 今後も定住を進める上で、基盤の目の道路というのを進めていきたい。地権者から了解を得られるなら、一ノ割地区の再開発をしていかなければならないと考えている。



ふくもと
福本みやこ
議員

新年度施政方針に
リーダーシップを！

答 新道路網整備でパワーアップ
するまちをつくりたい



画面と一緒にイチ、二、サン！

国 はデジタル社会の取組をすす
めている。

住民の健康増進をすすめるため
に、新年度施政方針でデジタル化
をどう活かしていくのか。

答 (町長)
介護予防拠点施設に整備した
WiFiによりいつでも参加でき
る体操教室のユーチューブ配信、
高齢者の健診結果をデータ化し、
フレイル予防対象者に、保健師、
管理栄養士、歯科衛生士が訪問指

町政を問う

導や拠点での健康講話を行う等の
予防活動に活かしていく。また検
診で蓄積されたデータをもとにI
CTを活用した健康づくりを進め
ていきたい。

問 体操教室のユーチューブチャ
ンネルはどの程度再生され、
浸透しているのか。どんな効果が
上がっているのか。

答 (福祉保健介護課長)
令和5年3月2日現在で20
61回再生され浸透している。操
作も簡単で便利であり、画面を見
て繰り返しできることが楽しいと
いう意見がある。取組が、予防活
動の促進や健康寿命の延伸につな
がると考える。

問 採血不要の母子等貧血検査の
状況はどうか。

答 (福祉保健介護課長)
乳幼児期は採血検査の機会が
少ない。痛みのない検査で、その
日のうちに貧血改善の栄養指導が
できる。母親にも健康維持のアド
バイスを行っている。健全な食生
活を実践できるよう、今後も食育
の推進に取組んでいく。

問 地域の活性化には特に幹線道
路の整備が重要。見解を伺
う。

答 (建設課長)
赤田・上沖洲線の整備に合わ
せて接する長洲・岱明線の詳細設
計を令和5年度に予定している。
その後、用地測量、用地交渉、調
査、補償等を順次計画的に進める。
令和11年度の、県区間の整備完成
と同時期を目指していく。

問 中学校の通学路となるこの道
路には、校区間を結ぶ大事な
役割がある。この地域のまちづく
りをどう考えるのか。

答 (町長)
有明海沿岸道路の都市計画道
路決定と、それに伴う道路網の整
備で、土地の用途見直しや、駅南
の整備計画等、新しいまちづくり
構想が出てくると考える。町民と
一緒になって素晴らしいまちをつ
くっていきたい。



いその ひろし
磯野 博
議員

町独自の子育て支援の取組が必要だ

答 国の動向を注視し、子育て支援の充実を図っていく



子育て支援の拡充を！

少 子化社会対策大綱の基本的な考え方に、

- (1) 結婚・子育て世代が将来にわたる展望を描ける環境をつくる。
 - (2) 多様化する子育て家庭の様々なニーズに応える。
 - (3) 地域の実情に応じたきめ細やかな取組を進める。
 - (4) 結婚・妊娠・出産・子ども子育てに温かい社会をつくる。
 - (5) 科学技術の成果等新たなりソースを積極的に活用する。
- とある。本町においても、課題解決に向けた事業が実施されていると思うが、現状を伺う。

答 (町長)

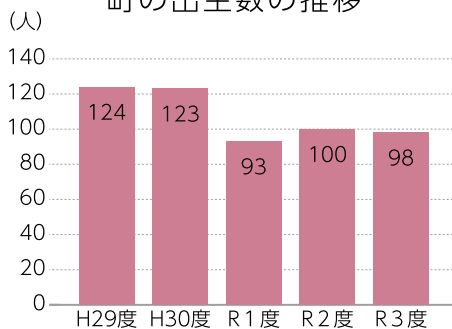
町において、経済的負担を軽減する結婚新生活支援事業や、男性の育児参加を促進し、子育て世帯の仕事と育児の両立を支援する男性の育児休業取得促進奨励金事業等による経済的な支援をしている。また、利用者ニーズに合わせた保育園等での延長保育や一時預かり事業の実施や、妊娠期から出産、子育て期までの切れ目のない支援としては、はぐくみ館やすこやか館における継続した相談支援のほか、幼児期からの一貫した英語教育を実施する等、様々な事業に取組んでいる。国の動向を注視しながら、引き続き子育て支援の充実を図っていきたい。

問 少額の子育て支援給付等であるもう、「子どもをもう1人産もう」、「長洲町に引っ越してこよう」、「転入をしよう」、「長洲町に家を建てよう」とはならない。スクラップ・アンド・ビルド、選択と集中で、町の方向性を子育ての町に少しシフトしてみてはどうか。

答 (町長)

私は子育てで重要なのは教育だと思っている。乳幼児期からの教育をすることによって、長洲町はすごいなと言えるような町を目指していきたいと思う。どうしたら子ども達が健やかに成長するか、今後も議員の皆さんと一緒に町民のいろいろな要望を聞きながら、勉強をしていきたい。

町の出生数の推移



資料：町ホームページ

減少が続く出生数



うらべ ともあき
浦邊 朝章
議員

施政方針を問う (多文化共生社会について)

答 外国人の雇用増加を想定し
多文化共生を目指していく

地

方での人口減少、少子高齢化等による地場産業や農漁業等の労働力不足を補うため、外国人技能実習生の雇用が増えている。

- (1) 町の人口動態と在住外国人の推移は。
- (2) 在住外国人の住居の実態は。
- (3) 地域住民とのトラブルや苦情はないか。地域でのコミュニケーションや行事参加はできているか。
- (4) 行政、企業、地域住民の役割は。
- (5) 外国人との共生社会を町はどのように描いているか。

答

(町長)
(1) 在住外国人は令和5年2月末で636人と過去最高の人数。国籍はベトナム人345人、フィリピン人191人、以下インド人、中国人、ネパール人等。大半が技能実習生で、町内事業所等に就労している。

(2) 住民基本台帳で住居の実態把握を行っている。

(3) 苦情は、夜間の騒音や、自転車のマナーについて数件ある。

町政を問う

地域では、上沖洲区で消防訓練やペタンク大会に、赤田区では祭りへの参加等がある。

- (4) 町の外国人相談窓口の担当課が警察、消防と連携し、安全で安心な暮らしを提供している。ごみカレンダーやホームページ等の多言語化を行っている。受入事業者は、知識向上や安全管理など生活の指導に尽力している。地域では相互理解を深め、コミュニティの構築を図ることで将来的には地域で活躍できるような役割を担っている。また、外国人受入事業者等連絡協議会で意見交換や情報の共有を行っている。
- (5) 相談体制の充実を図り、行政、受入事業者、地域がそれぞれの役割を担うことで地域住民が安全で安心して暮らせるまちを目指す。

問 住民全体に占める外国人の割合はどれくらいか。

答 (まちづくり課長)
4・1%で県下で一番高い。

問 外国人が増え、住民が接する機会も多くなる。言葉が理解できないと誤解や偏見が生じる。

日本での暮らしに関するルール等はどう周知するか。

答 (まちづくり課長)
ルールブック等のやさしい日本語版を相談窓口で配布する等している。

問 外国人も住民の一員として受け入れて、多文化共生を図る先進的な取組を考える必要があると思うが、町の考えは。

答 (町長)
外国人の雇用も増加していくと想定している。多文化共生を目指していきたいと考えている。



多言語に対応したごみカレンダー



たなり まさひろ
田成 護
議員

家庭用廃油回収に積極的な取組を

答 回収拠点の増加を検討する



家庭用廃食油回収の増加を

バイオディーゼル燃料の材料として家庭用廃食油の回収を行っている。その取組は各家庭に十分周知されているか。

答 (町長)

広報ながす及び町ホームページに掲載して周知を行っており、令和3年度は1071リットルの回収が行われた。

問 廃油回収は、ごみ削減にもなる。回収目標を設定して取組むことはできないか。

答 (住民環境課長)

具体的な数値目標はないが、回収拠点施設を増やすことで回収量も増加する。設置場所の検討を行う。

フードドライブの再開は

答 関係機関と連携し、検討していく

問 以前、県下一斉フードドライブブ事業に合わせて実施されていたが、今後、本町独自での実施はできないのか。



フードドライブの再開を

答 (町長)

県の食品ロス削減アクション、四つ葉のクローバー運動の一つでもあるため、本町としても関係機関と連携し、検討していく。

問 フードドライブで集めたものを町内で配布する仕組みはあるか。

答 (町長)

本町にはない。食材の保管場所と配布先の確保に併せ、関係機関との連携・協議が必要となる。

問 SDGsへの取組は、環境問題だけでなく、ごみの削減や、困窮世帯への対応等、波及効果がある。積極的に取組んでほしい。

フードドライブとは

家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動。

町政を問う



はやし としや
林 敏哉
議員

学校給食費の完全無償化を求める

答 国が補助金をつけるべきと考える

全 国的にも近隣自治体でも、学校給食費の無償化や一部助成を行っている自治体が増えてきている。これは保護者の経済的負担の軽減になり、子育て支援の推進や少子化対策、さらには若い世代の定住促進にもつながり喫緊の課題だ。

答 (教育長)
法律の規定に基づき、保護者負担を基本と考え、無償化の予定はない。

問 県内では、玉東町は小中学校給食費の完全無償化、南関町は月2000円の助成、荒尾市は小学校給食費の完全無償化を実施しているが、この背景には何があると考えるか。

答 (学校教育課長)
子どもの貧困対策として、将来を担う子ども達に対するサービスの提供の手段であるが、各自治体の政策で実施されていると考える。

問 学校給食法第1条や、食育基本法前文に基づけば、学校給食は教育の一環として位置づけら

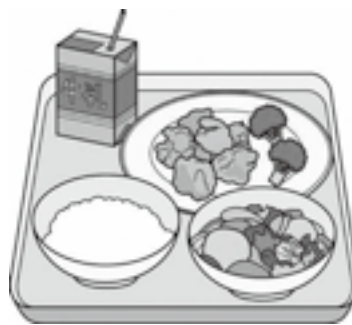
町政を問う

れると解釈するが。

答 (教育長)
学校給食は食育の推進に関する教育の一環として考える。

問 日本国憲法第26条第2項では「義務教育は、これを無償とする」と掲げられている。学校給食が教育の一環として位置づけられているのであれば、憲法に基づき、義務教育は無償の観点で、学校給食の無償化を行うべきではないか。

答 (学校教育課長)
義務教育の対象となる内容の詳細は法律の規定に委ねられる。



急がれる学校給食の無償化

問 では学校給食費(1)「学校給食費の法的根拠」の中で、学校給食法第11条についてどのような記載があるか。

答 (学校教育課長)
保護者の負担を軽減するために、設置者(行政)が学校給食費を予算に計上し、保護者に補助することを禁止した趣旨のものではない。

問 小中学校給食費の完全無償化もしくは一部助成は、教育施策の一丁目一番地、喫緊の課題として、前向きに、制度として確立することを求める。

答 (町長)
町の財政運営に支障のない、持続可能な制度をつくる必要がある。

問 財政調整基金を取り崩し、財源に充てることは検討できないか。

答 (町長)
一案かと思うが、基金がなくなった場合、制度自体が崩れる。国が補助金をつけるべきと考える。



あらき むつこ
荒木 睦子
議員

タブレット端末の活用状況は

答 学習の幅が広がり、最大限に活用

各 教科のタブレット端末活用の内容を伺う。

答 (学校教育課長)

国語、算数、数学、社会、理科等の問題を児童生徒がまとめてシートをタブレットのカメラで撮影し、大型モニターに映し出し、回答を共有する等している。



学習効果の向上を期待

問 タブレットを操作する教員の指導力が大事だが、体制は大丈夫か。

答 (学校教育課長)

ICT支援員を2週間に1回、3時間程度、小中学校に派遣している。また、各学校で教員に対しICT教育の研修も行っている。

問 不登校の児童生徒に対するタブレットの使い方等の指導は。

答 (学校教育課長)

ほっとスペース「ウイング」に通所する児童生徒は使用できる学習環境が整っている。また、家庭で学習をしたい者には貸し出し、連携しながら取組んでいる。

問 児童生徒の気分や体調の変化等、健康観察の面からも、学

さらなるごみ減量化対策は

答 大きな改革の取組をしていく

問 ゴミ処理施設搬入量は、令和元年度4083トン、令和2年度4245トン、令和3年度4084トン、第6次総合振興計画に、令和6年度目標値が4000トンと示されている。減量化の更なる取組は。

答 (町長)

目標達成には、ごみの量の約8割を占める家庭ごみを減らすことが課題。段ボールや雑誌等の資源ごみのリサイクルの推進を強化し、周知啓発活動も引き続き行っていく。

校でのタブレット活用は。

答 (学校教育課長)

現在、担任教諭や養護教諭等で、朝の健康観察を行っている。今後、国が示す方向性を見極めて判断する。

問 ごみが増えれば処理費用が増えるが、どういった影響があるか。

答 (住民環境課長)

1トンあたり約4万8000円の経費がかかる計算だ。ごみ処理量が増えると、当然町が負担する処理経費も増えてくる。



一世帯に一台を
(生ごみ処理機)

うらべ ともあき
浦邊 朝章 委員



三浦市は平成22年度から水道事業の赤字が続き、経営の健全化が求められていた。水道ビジョン（経営戦略）を策定し、水道料金を値上げするまで、わかりやすいチラシで広報を重ねた。住民の理解を得るために丁寧な周知が重要である。

総務保健福祉常任委員会

1月10日（火）～12日（木）

【視察先】

- 神奈川県三浦市
「水道事業の経営健全化」
- 埼玉県宮代町
「公共施設マネジメント計画」

いその ひろ
磯野 博 委員長



三浦市は令和4年7月に水道料金26%の値上げを実施。本町と課題の違いはあるものの、将来に向けて水道事業の経営健全化は急務であることは変わらない。参考にできるものを取り入れ、役立てていきたい。



埼玉県宮代町

委員会 活動

各委員会において、町の諸課題の解決や事業の比較等のため、先進自治体の取組について視察を行った。

とくなが のりあき
徳永 範昭 委員



三浦市は、百年先を見据えたアセットマネジメントに基づき経営戦略を策定し、住民の理解を得ながら県内で一番高額の水道料金となる改定を実現した。その後も住民との情報共有を続けている点が良い。

はやし としや
林 敏哉 委員



宮代町は小中学校の統廃合について、「原則的に学校以外の建物の建替えは行わず、学校を主とした地域の中心施設に集約する」という考え方で施設整備にあたり、学校ゾーンとその他のエリアゾーンの範囲を可変的にし、必要に応じたスペースの配分ができる「スケルトン・インフィル」の考え方に基づく施設整備方針を打ち出したことを学んだ。

たけもと しんじ
竹本 信次 委員



宮代町は人口減少の中、更新時期となる公共施設の機能を再編するため「あったらいいなこんな場所～みんなで考える地域の施設～」等で幅広く住民の意見を聴き、その時代の行政需要を考え、公共施設マネジメント計画を見直している点が良い。



茨城県阿見町議会

たなり まさる
田成 護 委員



阿見町は議会の内容を住民にいかにつまやくかということに尽力されていた。議会基本条例が制定され、議会の様子を動画で配信し、タブレット導入によりペーパーレス化が進んでいる。本町でも検討すべきことが多い。

議会運営委員会

2月1日（水）～3日（金）

【視察先】

- 茨城県阿見町議会
「議会改革の取組」
- 神奈川県開成町議会
「議会改革の取組」

ふくもと こ
福本みや子 委員長



計画的なまちづくりの成果として、合併以来人口が増加している開成町。新住民が議会に関心を持つように、議会映像をインターネットで配信する、『読む』から『見る＝魅せる』広報紙への改革に積極的で、大いに刺激を受けた。

まつい かずや
松井 一也 委員



渋谷区では、渋谷ユナイテッドを設立し、部活動の地域移行に取り組んでいる。生徒のニーズをふまえ、魅力的な活動となっている。本町の課題である指導者の人材不足、教員の働き方改革等の取組の参考となった。

建設経済文教常任委員会

1月25日(水)～27日(金)

【視察先】

- 東京都瑞穂町 放課後学習「学びのテーマパーク」
- 東京都渋谷区 シブヤ「部活動改革」プロジェクト

まえだ みわこ
前田美和子 委員長



瑞穂町の学力向上の取組「学びのテーマパーク」は、子どもの学習を見える化し、「受け身から主体的への転換」を図っている。地域コーディネーターの配置や地域住民による学習支援は、本町の参考となる内容だった。

はまさき ひさし
濱崎 久 委員



渋谷区では生徒のニーズにこたえる部活動の設置と、学校の働き方改革を見据えた実施を目的として、シブヤ「部活動改革」プロジェクトを行っていた。先進的な取組で非常に参考になった。

議長よりコメント

ふくなが えいすけ
福永 栄助 議長

私も2つの常任委員会、議会運営委員会の研修に参加しました。議員それぞれがしっかりと研修されており、研修成果を今後の議会活動に活かしていただきたいと思います。

見て！
聴いて！
そして
どう活かすか



東京都渋谷区

はまむら よしみつ
濱村 芳光 委員



大洗町の議会だよりは4名で編集し、定例会後約1カ月で発行している。議会事務局との役割分担がしっかりできており、定例会会期中に一般質問者へ原稿依頼をする等、発行までの基本スケジュールの工夫がされている。

広報調査特別委員会

2月15日(水)～17日(金)

【研修・視察先】

- 全国町村議員会館「町村議会広報クリニック」
- 茨城県大洗町議会「議会広報の編集体制等」

あらき むつこ
荒木 睦子 委員長



「誰のため、何のための広報か」の研修を受け、クリニックでは、質疑や討論等が熱心な広報であり、一般質問は読みやすく充実等嬉しい講評。改善点は見出しが控えめと指摘、今後の広報を充実させる糸口を感じた。



広報クリニック



茨城県大洗町議会

ふくだ ふみはる
福田 史治 委員



大洗町議会の広報委員は、新人議員が中心。議会だよりにクイズを載せて住民に回答してもらおう際にアンケートを行い、意見や感想を聞いている。取組が幅広く、全員で広報を良くしようという心がけが感じ取れた。

町民のひろば

傍聴席から

鵜殿 陽一さん (70代・男性)



議会の傍聴者が少ないのが残念だ。これでは議場での緊張感も弱くなる。有権者は、4年毎の町議会議員選挙において自分が投票し当選した議員が、議場での一般質問や議案への質疑で、どのような発言をしているのか、気にならないのだろうか。議会への広報にしても、町内の有線放送で開会を知らせたり、「議会だより」配布後に議会報告会を開催したり、もう少し努力してほしいと思う。

地域レポート

松原区



介護予防拠点施設「ふれあい松原」では、月2回、女性6～7人が集まり、それぞれミシンやお気に入りの布を持ち込んで、思い思いに洋服やバッグ等を作る。

町外から来る指導者は、料理や漬物づくりの名人でもあり、洋裁のほかにもいろいろな楽しみがあるようだ。今月はどんな素敵な洋服ができるのか。軽やかにミシンが動いていた。

皆さん傍聴に来てみらんわ!

次の定例会は
6月12日(月)
開会の予定です

※一般質問の内容は町ホームページで閲覧できます。

■問い合わせ先
議会事務局
電話 78-3291

手続きは住所・氏名・年齢を書くだけです

発行責任者	議長	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	委員
福永栄助	福永栄助	濱村芳光	福本みや子	林敏哉	前田美和子	田成護	福田史治	荒木睦子	陸子

広報調査特別委員会

ひと言

今年の冬は厳しかった。だから桜が咲くのが待ち遠しかった。新型コロナウイルス感染におびえ、この3年間皆ひっそりと暮らしてきた。しかし、今年は嬉しいことに桜の下で花見ができた。マスクなしで入学式が行われ、先日は町の一大イベント「火の国長洲金魚まつり」も開催された。

静から動に生活が移行する。コロナ禍から完全に開放された

わけではないが、以前の生活をとり戻しつつある。命の大切さと幸せを実感する。

だからこそ、ウクライナにも早く穏やかな春が来てほしいと願わずにはいられない。

(濱村)

